

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : **エバーボンドGP#3 主剤**
製品種類 : 注入材
使用上の制限 : 業務用
会社名 : 株式会社 ダイフレックス
住所 : 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F
電話 : 03-5381-1555
緊急連絡先電話 : 技術研究所 047-436-0811
SDS No. : 410154100-1

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 分類区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 分類できない

急性毒性(経皮): 分類できない

急性毒性(吸入): 分類できない

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 区分 1

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性: 分類できない

生殖毒性: 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 分類できない

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 分類できない

吸引性呼吸器有害性: 分類できない

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 1

水生環境有害性(長期間): 区分 1

オゾン層に有害: 分類できない



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性



注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。一禁煙。
取扱い後は手洗い・うがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。
容器は密閉しておく。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
漏出物を回収する。

保管

施錠して保管する。
直射日光を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質
化学名 :データなし

成分名	含有量(%)	CAS No.
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	40-50	25068-38-6
酸化チタン(IV)	1-10	13463-67-7

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。汚染した靴は捨てる。
再使用する場合は汚物を完全に除去する。
多量の水と石鹼で洗う。直ちに医師に連絡する。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診断/手当を受ける。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受ける。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。医師の指示による以外は無理に吐かせない。
嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。

応急措置をする者の保護

適切な換気を確保する。



5. 火災時の措置

適切な消火剤

泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用する。

不適切な消火剤

水は冷却の目的には用いてもよいが、消火の効果はない。

特有の危険有害性

不完全燃焼すると濃い煙が発生する。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

防火服/防災服/耐火服を着用する。

低温断熱手袋/顔面保護具/保護眼鏡を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

掃き集めて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

漏出物を回収する。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

(火災・爆発の防止)

熱源/火花/炎/加熱面から遠ざける。ー禁煙。

局所排気、全体換気

屋外または換気のよい場所でのみ取り扱う。

注意事項

皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。

蒸気は、めまいや窒息を引き起こすおそれがある。

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

取扱う前に取扱い説明書を入手し、すべての安全注意を読み理解する。

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。



配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

容器を密閉する。
涼しい所に置く。日光を避ける。国/地方の規則に従って保管する。

避けるべき保管条件

直射日光が当たる場所。屋根がない場所。高温になる場所、およびその隣接した場所。
開封状態での保管。

配合禁忌

消防法で定める混載禁止物質との同一保管は禁止。
セットで販売している化学物質以外との配合は禁止。

容器包装材料

他の容器に移し替えてはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度 :データなし

許容濃度

(酸化チタン(IV)) ACGIH(1992) TWA: 10mg/m³ (下気道刺激)

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー・手洗い・洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。
着用すべき手袋の材質:不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态 :固体(揺変状)

色 :白色

臭い :微臭

pH :データなし

初留点/沸点 :データなし

沸点範囲 :データなし

融点/凝固点 :データなし

分解温度 :データなし

引火点 :190°C

自己発火温度 :データなし

蒸気圧 :データなし

比重/密度 :1.4g/cm³

粘度 :データなし

水に対する溶解度 :不溶



10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

酸、強酸、塩基、強塩基、酸化性物質、強酸化性物質、還元性物質、強還元性物質

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性 :データなし

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

皮膚腐食性/刺激性成分データ

(酸化チタン(IV)) ヒト 0.3mg/3D-I ; MILD

眼に対する重篤な損傷・刺激性 :データなし

感作性 :データなし

生殖細胞変異原性 :データなし

催奇形性 :データなし

発がん性

(酸化チタン(IV)) IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

(酸化チタン(IV)) ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性 :データなし

短期/長期ばく露による即時/慢性影響 :データなし

吸引性呼吸器有害性 :データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

水生毒性 成分データ

(酸化チタン(IV)) 甲殻類(オオミジンコ) EC50>1000mg/L/48hr (AQUIRE, 2003)

(ビスフェノールA型エポキシ樹脂) 甲殻類(オオミジンコ) EC50=1.7mg/L/48hr (CERI・NITE, 2006)

水溶解度

(酸化チタン(IV)) 溶けない (HSDB, 2004)

(ビスフェノールA型エポキシ樹脂) 0.041mg/L (CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

残留性・分解性

(ビスフェノールA型エポキシ樹脂) BODによる分解度:0%(既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

(ビスフェノールA型エポキシ樹脂) BCF <= 42(Check & Review, Japan)

土壤中の移動性 :データなし

オゾン層破壊物質 :データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。
特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。



13. 廃棄上の注意

廃棄方法

環境への放出を避けること。

製品の処分は産業廃棄物処理専門業者に成分を明示して契約を締結すること。

汚染容器及び包装

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :3082

品名(国連輸送名):環境有害性物質

国連分類 :クラス9

容器等級 :III

指針番号 :171

特別の安全対策

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気注意。

陸上輸送 :消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 :船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 :航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当する化学品を意図的的成分として含有せず、購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物

該当しない

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

酸化チタン(IV)

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

既存変異原性化学物質等

ビスフェノールA型エポキシ樹脂

通達 感作性物質(基発第182号)

ビスフェノールA型エポキシ樹脂

化学物質管理促進(PRTR)法

該当しない

消防法

該当しない ※消防法上固体

化審法

第2種監視化学物質

ビスフェノールA型エポキシ樹脂

海洋汚染防止法

有害液体物質(混合物)



16. その他の情報

ホルムアルデヒド放散等級 日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-005498 F☆☆☆☆
4VOC放散速度基準 日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-405847 4VOC基準適合

参考文献

JIS Z 7253 (2012年)

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム (独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE)

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : **エバーボンドGP#3 硬化剤**
製品種類 : 注入材
使用上の制限 : 業務用
会社名 : 株式会社 ダイフレックス
住所 : 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F
電話 : 03-5381-1555
緊急連絡先電話 : 技術研究所 047-436-0811
SDS No. : 410154200-1

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 分類区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 分類できない

急性毒性(経皮): 分類できない

急性毒性(吸入): 分類できない

皮膚腐食性及び刺激性: 分類できない

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 分類できない

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性: 分類できない

生殖毒性: 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 分類できない

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 分類できない

吸引性呼吸器有害性: 分類できない

環境有害性

水生環境有害性(急性): 分類できない

水生環境有害性(長期間): 分類できない

オゾン層に有害: 分類できない

絵表示: なし

注意喚起語: なし

危険有害性情報: なし

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。ー禁煙。
取扱い後は手洗いうがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。容器は密閉しておく。



応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
漏出物を回収する。

保管

施錠して保管する。
直射日光を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質
化学名 :ポリチオール

成分名	含有量(%)	CAS No.
ポリチオール	40-50	非公開

4. 応急措置

吸入した場合

呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
衣類にかかった場合:服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類および皮膚を多量の水で洗う。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当を受ける。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。

飲み込んだ場合

無理に吐かせてはならない。

応急措置をする者の保護

適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用する。

不適切な消火剤

水は冷却の目的には用いてもよいが、消火の効果はない。

特有の危険有害性

不完全燃焼すると濃い煙が発生する。消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。
危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。
消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

データなし



6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

掃き集めて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。

必要な個人用保護具を使用する。

(火災・爆発の防止)

熱源/火花/炎/加熱面から遠ざける。ー禁煙。

粉碎/衝撃/摩擦のような乱暴な取扱いをしてはならない。

局所排気、全体換気

屋外または換気のよい場所でのみ取り扱う。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

蒸気は、めまいや窒息を引き起こすおそれがある。

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

使用前に取扱い説明書入手する。

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

容器を密閉する。

涼しい所に置く。日光を避ける。

国/地方の規則に従って保管する。

避けるべき保管条件

直射日光が当たる場所。屋根がない場所。高温になる場所、およびその隣接した場所。

開封状態での保管。

配合禁忌

消防法で定める混載禁止物質との同一保管は禁止。

セットで販売している化学物質以外との配合は禁止。

容器包装材料

最初の容器中でのみ保管する(他の容器に移し替えてはならない)。



8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度 :データなし

許容濃度 :データなし

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

着用すべき手袋の材質:不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。

この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態 :固体(揺変状)

色 :黒色

臭い :チオール臭

pH :データなし

初留点/沸点 :データなし

沸点範囲 :データなし

融点/凝固点 :データなし

分解温度 :データなし

引火点 :120°C

自己発火温度 :データなし

蒸気圧 :データなし

比重/密度 :1.4g/cm³

粘度 :データなし

水に対する溶解度 :不溶

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

酸、強酸、塩基、強塩基、酸化性物質、強酸化性物質、還元性物質、強還元性物質

危険有害な分解生成物

データなし



11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性 :データなし

局所効果

皮膚腐食性・刺激性 :データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性 :データなし

感受性

エポキシ樹脂硬化剤による皮膚障害を起こす恐れがある。

生殖細胞変異原性 :データなし

催奇形性 :データなし

発がん性 :データなし

生殖毒性 :データなし

短期/長期ばく露による即時/慢性影響 :データなし

吸引性呼吸器有害性 :データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性 :データなし

水溶解度 :データなし

残留性・分解性 :データなし

生体蓄積性 :データなし

土壤中の移動性 :データなし

オゾン層破壊物質 :データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。
特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

環境への放出を避けること。

製品の処分は産業廃棄物処理専門業者に成分を明示して契約を締結すること。

汚染容器及び包装

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :該当しない

指針番号 :171

特別の安全対策

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気注意。

陸上輸送 :消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 :船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 :航空法に定めるところに従う。



15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当する化学品を意図的的成分として含有せず、購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物

該当しない

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

該当しない

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

化学物質管理促進(PRTR)法

該当しない

消防法

該当しない ※消防法上固体

16. その他の情報

ホルムアルデヒド放散等級

日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-005498 F☆☆☆☆

4VOC放散速度基準

日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-405847 4VOC基準適合

参考文献

JIS Z 7253 (2012年)

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム (独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE)

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上